

落合かつひろ これまでの主な取り組み



No. 13

平成23年〈2011年〉4月～令和5年〈2023年〉1月

安心安全、支え合うまちづくり

◆消防庁舎の建て替え、市民病院の機能強化

- ・令和3年6月に、消防署本署・消防団第3分団の合築庁舎が完成。
- ・令和4年2月には、災害用ドローンを導入。建物火災や水難をはじめとする救助現場等の状況確認・搜索活動、土砂災害等大規模災害時の被害状況を早期に確認することで、より安全かつ効果的な部隊運用の実現が可能になりました。
- ・津波避難ビルの協定締結を進め、現在までに78か所（民間施設67か所、公共施設11か所）となりました。
- ・令和2年9月、ビーチパークに約360人が避難できる津波避難展望台が完成。避難可能人数（約360人）は、休日の来場者を基に想定しています。
- ・市民病院は県内初となる国産の手術支援ロボット「hinotori」を導入し、患者の負担を軽減する手術を令和4年10月から実施しています。
- ・市民病院は「断らない救急」として、救急応需率は98.2%に達しました。

市民の皆さんの安心・安全を第一に考え、取り組んできた成果を2月まで、毎週火曜日に紹介していきます。

発行：令和5年1月10日